

論文考査の問題

大阪府では、主な死因として循環器疾患とともにがんの割合が高い。

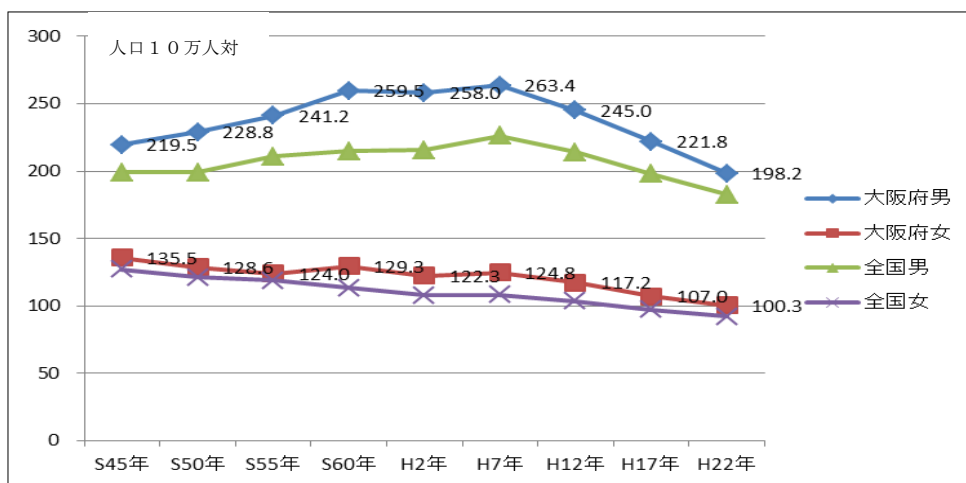
また、年齢による影響を考慮した大阪府のがんの年齢調整死亡率は、低下傾向ではあるものの、全国よりも高い状況である。〔資料1〕

一方、我が国のがん対策については、がん対策基本法（平成18年法律第98号）及び同法の規定に基づく「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定。）により、総合的かつ計画的に推進しているところである。がん診療連携拠点病院については、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん医療の均てん化を目指し、その整備が進められてきたところである。

こうした中で、がん診療連携拠点病院等の指定要件に、がんと診断された患者に対し緩和ケアが提供されるよう体制整備を行うことが盛り込まれた。しかし、未だがん患者に対する身体的、精神的苦痛等に対して迅速かつ適切な緩和ケアが十分に提供されていないとの指摘がある。

がん患者に対して、より迅速かつ適切な緩和ケアを提供するためにどのような施策が考えられるか、〔資料2〕も参考とし、課題を挙げた上で具体的な施策を提案しなさい。また、提案した施策を進める上で、国、府、市町村、関係機関等が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

〔資料1〕 がんの年齢調整死亡率の推移



〔資料2〕 大阪府における高齢者人口の推移

